

HALDIARY

一步先へ!

VOL. 3 11

震災支援「Paroプロジェクト」 in特別養護老人ホーム万葉園



6月21日、東日本大震災支援CSR活動として、福島県南相馬市にあります特別養護老人ホーム万葉園にParoの納品にお伺いいたしました。

万葉園は、福島第一原子力発電所から約30kmに位置し、地震、津波、原発のトリプル被害を受けた地域にあります。

3月19日に他の二つの特養（避難地域内）とあわせて、約200名の入所者様は横浜へ避難しました。その後は、遠くは大阪、東京、埼玉、新潟、山形など各地の施設に分散して、転々と避難することになりました。約3ヶ月経った6月10日より、やっと万葉園に戻ることができるようになり、21日現在で約50名の方が施設への移動が完了した状況です。食堂やホールには、角材とベニヤ板で仮の個室が増床され、今後は通常の二倍の定員を受け入れる予定になっています。

Paroと一緒に、ロボットの授業を行った東京都の小学校の6年生のみなさんが、模造紙に「南相馬のおじいちゃん・おばあちゃんへ」という手紙を書いてくれました。子ども達も、「何か被災地の方々のためにしたいのに、子どもの私達では何もできない。」というジレンマから「被災地の人たちの力になることができる。」と喜んで手紙を書いてくれたそうです。

施設長の大内様からは、「パロを通じて、入所者さんが少しでも癒されれば嬉しいです。また、被災した職員も多く、とても疲れているので職員達も癒されると思います。」とのお言葉をいただきました。当日触れ合っていた方からは、「かわいい。かわいい。」「よく来てくれたね。」と、とても喜んでいただきました。

まだまだ、震災の爪痕がたくさん残り、大変な状況は続いています。被災地への引き続きの支援を宜しくお願いいたします。

— 6月28日現在 —

ヒューマン・ケア事業推進部ロボット事業推進室 石渡